

平成 25 年度 長野市産業振興審議会 第 1 回 観光振興専門分科会

日 時 平成 25 年 7 月 17 日 (水) 午後 3 時 30 分～5 時 15 分
場 所 長野市役所第二庁舎 10 階 会議室 18
出席者 委員 (14 名中 11 名出席、3 名欠席)
事務局 6 名

【 主な意見 】

**(1) 長野市産業振興ビジョン重点プラン
平成 24 年度実績報告及び平成 25 年度施策について**

[意見なし]

(2) 長野市産業振興ビジョン後期振興計画の中間評価について

[質疑]

市内宿泊客数については 24 年度に目標値に達してしまっただが、目標値を修正する予定はあるか。また、観光入込客数について、23 年度より増えた要因は何か。

[回答]

目標数値は最終年度にこの数字に達するというのではない。年によって上下があるため、5 年間の平均数値を目標値として考えている。そのため、目標値の修正は考えていない。また、観光入込客数については、全国的にも右肩下がり状態であるが、24 年度は前年の震災(原発事故)の影響により訪れた方が多く、ホテルの客室稼働率も高かった。25 年度は国などが引続き東北キャンペーンを行っているため、苦戦すると考えられる。

[意見]

議題の中間評価については、資料にもあるように数字も大切だが、数字では表せない部分のコメントが重要である。コメントを加えることで内情がわかるので、コメントを積極的に記載し、重きを置くべきである。また、中間評価の年は翌年に控えるビッグ・イヤー(善光寺御開帳等)の前年となるため、最終報告書との比較となる。新幹線延伸の前と後、御開帳の前と後を予定した評価の仕方になると考えられるので、それを見越した設定にするべきである。

**(3) 長野市優先施策事業 新幹線延伸に対応したまちづくり
「効果的な情報発信と広域的連携について」**

[意見]

例えば、軽井沢のように民間が動いて、行政が後押しするという方法であれば、効果的な情報発信という点で民間が果たす役割が大きい。これらを利用して、長野らしさ・独自色を出していくということも可能ではないか。

[意見]

二次交通を含めた全体を総合的に俯瞰した案内の方法など考えてほしい。そのため、観光情報センターの役割が非常に重要になってくると考える。

[意見]

表示方法いわゆるサインは非常に重要で、統一感と一目瞭然さが求められる。現在、長野駅周辺は統一されていない状態である。駅舎や広場の整備はいい機会であるので検討してもらいたい。

(4) 長野市観光動向調査について

[意見]

調査によるデータを活かして、しっかり見極めて的確な分析を行ってほしい。

(5) その他

[意見]

引続き、県・県観光協会と連携を図りながら、多くの情報発信を行い、誘客に努めるべきだ。

以上